

令和5年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の自己点検・評価の結果について

<学内からの視点>

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
プログラムの履修・修得状況	<p>学生のプログラム当該科目の履修・修得状況及び講義への出席状況についてのデータは、LMS（KIUポータル）に記録され、本学教員と情報が共有されるほか、保護者用サイトを通じて保護者も確認することができます。教務委員会、演習担当者会議、保護者などと連携し、当該科目への出席率向上と途中離脱者の防止に継続的に注力していく。</p> <p>数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営ワーキンググループにおいても、これらのデータを活用し、履修者の単位取得率の向上を図るための教育プログラムの改善を検討・実施する。</p>
学修成果	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営ワーキンググループにおいて、当該科目の受講者平均GPAの分布や授業回ごとの課題提出率、LMS（アセスメンター）を通じ受講者が提出する授業評価アンケートや各科目の学修到達度についての自己評価などのデータをもとに分析し、本教育プログラムの改善と教育内容の平準化を図っていく。</p> <p>なお、令和6年度より本教育プログラム当該科目受講者を対象とした「数理・データサイエンス・AI教育プログラム受講者アンケート」を実施し、受講者における各科目の理解度及び数理・データサイエンス・AIに対する関心の変化、プログラムの改善点などについて意見を収集し、今後の運営・改善の資料とする。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>科目担当者は、受講生がLMS（アセスメンター）を通して回答する授業評価アンケート、各科目の学修到達度についての自己評価などを確認に活用する。授業評価結果については、本学大学ホームページで公表するとともに、FD委員会を通じ授業改善にも活用している。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>令和5年度授業評価アンケートにおける当該科目受講生のコメントをみても、「将来に活かせる情報リテラシーを学ぶことができた。」「この授業はもっと早く学ぶべきだったと後悔していますので1年次からの必修にしても良いと思います。」などの感想が寄せられ、後輩等他の学生への高い推奨度を抱いた学生が多いものとみられる。これらの学生アンケートの結果は学内に公開し、後輩学生の閲覧も可能となっており、本教育プログラムの内容の理解や受講の動機づけに役立てられるものと期待する。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>令和6年度においては、新入生の履修登録ガイダンス時に数理データサイエンスAI関連科目の履修を勧奨するチラシを配るとともに、演習担当教員への協力を要請した。本教育プログラム当該科目のなかには希望者が殺到し多くの履修漏れが生じたものもあるので、秋学期に追加開講を実施する予定である。令和7年度新入生より本教育プログラム当該科目すべてを全員履修科目として開講する予定である。</p>

<学外からの視点>

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>本教育プログラムは令和4年度より開始しているため、まだ修了した卒業生が出ていないものの、受講者のなかには本プログラム当該科目から触発を受けて、IT関連の仕事への志望度を強めたり、専門演習ではデータ分析をテーマとする演習（ゼミ）へ進んだ学生も見られる。二科目修了者にヒアリングを行い、次のような回答を得ることができた。「この授業を受けたことが、情報や統計といったものを扱うゼミを選択するきっかけのひとつとなった」「将来、教員として電子化された環境の中で教えるということになると思うので、そのような場合に必要な知識やスキルを身に付けることができたように思う」といったコメントが得られた。また、「楽しかった」「授業を受けてよかった」といった好意的な評価をえられた。</p>